



CHAPTER 2

IM Compliance の設定

- 「Cisco Unified Presence IM Compliance の設定」 (P.2-1)
- 「Cisco UP XCP Message Archiver サービスの開始」 (P.2-2)

Cisco Unified Presence IM Compliance の設定

この設定はクラスタ内のパブリッシャ ノードで実行することを推奨します。

始める前に

- サポートされる外部データベースを 1 つ以上インストールして設定してください。『*Database Setup Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。
- Cisco Unified Presence で外部データベースを設定します。[Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration)] > [メッセージング (Messaging)] > [外部データベース (External Databases)] の順に選択します。
- Cisco UP XCP Router サービスのトレース レベルが「info」以上に設定されていることを確認します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration)] > [メッセージング (Messaging)] > [コンプライアンス (Compliance)] の順に選択します。
- ステップ 2** コンプライアンス サーバの選択項目から、[Message Archiver] を選択します。
- ステップ 3** (オプション) [発信メッセージのログgingsの有効化 (Enable Outbound Message Logging)] を選択します。
このオプションを選択すると、IM のパフォーマンスが低下する場合があります。すべての受信メッセージはすでにログに記録されているため、クラスタ間ネットワークまたは連動ネットワークで IM コンプライアンスを使用している場合を除き、この設定を有効にしないでください。
- ステップ 4** 個々のノードについて、外部データベース オプションからデータベースを割り当てます。
クラスタに 1 つの外部データベースを使用している場合は、すべてのノードを同じ外部データベースに割り当てます。複数の外部データベースを使用している場合は、そのデータベースの容量の要件に基づき、データベースにノードを割り当てます。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** Cisco UP XCP Router サービスを再起動します。

関連項目

- 「IM Compliance をサポートするためのトレース レベルの「Info」への設定」(P.3-2)
- 「Cisco UP XCP Router サービスの再起動」(P.3-1)
- 「IM Compliance 用サンプル トポロジーおよびメッセージ フロー」(P.1-2)

次の作業

「Cisco UP XCP Message Archiver サービスの開始」(P.2-2)

Cisco UP XCP Message Archiver サービスの開始

Cisco Unified Presence でコンプライアンス機能が正しく動作するには、Cisco UP XCP Message Archiver サービスが実行されている必要があります。



(注)

コンプライアンス機能用のノードに外部データベースを割り当てていない場合は、Cisco Unified Presence で Cisco UP XCP Message Archiver サービスの開始が許可されません。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified サービスアビリティ (Cisco Unified Serviceability)] > [Tools] > [Service Activation] の順に選択します。
- ステップ 2** [Server] リスト ボックスで、サーバを選択します。
- ステップ 3** [Go] をクリックします。
- ステップ 4** [CUP Services] セクションで、[Cisco UP XCP Message Archiver] サービスの横にあるオプション ボタンを選択します。
- ステップ 5** [Save] を選択します。

トラブルシューティングのヒント

Cisco UP XCP Message Archiver サービスが開始できなかった場合で、システム トラブルシューター ([Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unity Presence Administration)] > [診断 (Diagnostics)] > [システム トラブルシューター (System Troubleshooter)] の順に選択) には、外部データベース接続のステータスが問題なしと表示されている場合は、ノードからその外部データベースの割り当てを解除して、再度割り当ててください。

関連項目

「Cisco Unified Presence IM Compliance の設定」(P.2-1)